

初任者研修

研修所で行う研修
(第7回)

リフレクション通信

兵庫県立教育研修所

第7回は、オンライン（双方向）で講義・演習を実施しました。「学級経営・特別活動」の講義・演習では、チャットやブレイクアウトルームで交流し、学級経営でめざしたいことを確認したり、学級経営において中核となる特別活動について考えを深めたりし、新たな気付きを得ることにつながったと感じます。「授業実践研修に向けた事前研究①」の演習では、小学校では算数科の内容で、中学校では各教科の内容で、めざす子どもの姿をイメージしたり、それを引き出すための学習活動や手立てについて考えたりしました。また、各自作成した Jamboard を画面共有し、ブレイクアウトルームで協議を深めたり、互いの考えを比較したりしました。

小・中学校共通

【学級経営・特別活動】

○研修に向けて

- ・学級経営は教員という仕事をしていく上で必要不可欠な力であると思います。授業や行事、子どもたちが学校にいる時間の中で一番長いのは学級の教室です。合う人合わない人がいると思いますが学級の中で人間関係を構築していく力を児童に養っていく必要があります。その力を養っていくために、どのような声掛けをし、どのようなシステムやルールをつくり、学級をまとめていくかが教員の仕事であると思います。現状はまだ引き出しがあまりなく、学級経営ができていのかわかりませんが、児童自身が課題を見出し、解決に向けて話し合いながら課題に取り組めるような学級をつくっていくための方策や考え方を学びたいです。
- ・授業をするだけが教員の仕事ではないことを毎日感じています。例えば、休み時間の喧嘩も、児童が成長するための機会だと思っています。様々な性格の児童がいるので、もちろん児童の思い通りにならないことは多々あります。児童が大人になったとき、社会に出て困らないように、人間関係をよくするための課題を見だし、解決するための力を付けることはとても大切なことだと思っています。しかし、今回の講義の題である「特別活動」という言葉を、日頃からあまり意識できていないように感じます。今日は、特別活動とはどんなもので、どのように対応をすればよいかについてもう一度、しっかり考えたいと思います。

○研修の振り返り

- ・特別活動の取組の中の学級活動の位置付け、そして、その重要性を理解することができました。合意形成や話し合い活動を通して、生徒が主体的に集団の一員として、自分の意見を表現したり、役割や係、当番などで、自己有用感を高めたりすることができることも新しい発見でした。教員が決めて進めていくことは簡単ですが、協調性や

社会性を形成するために、学級活動、話し合い活動は大切であることが改めて理解することができました。「自分たちで集団をつくる」、教員はそのサポーターであるべきだと、今回の講義で知るこができ、非常に有意義でした。

- ・特別活動って何なのかと聞かれた時、答えられないことに気付くことができ、自分自身どんな活動なのか分かっていませんでした。今日の講義で学級活動、学校行事、児童会活動、クラブ活動を指し、自立していく力を身に付ける活動だと分かりました。また、特別活動はどんなことをすれば良いのかぼんやりとしか分かっていませんでしたが、話し合いの進め方がよく分かりました。子ども主体で話し合いを進めるために、話し合いの仕方やルールなど指導しなければいけないことや、良い話し合いの時間となるように事前準備(議題の選定、係の子どもを集めて話し合いについて相談するなど)も必要だと分かりました。また、やりっぱなしで終わるのではなく、振り返る活動も入れていくことを聞くことができました。現在、特別活動で話し合いの時間を全く確保できていないので、来週から少しずつそういったことも実践していきたいです。

小学校

【授業実践研修に向けた事前研究①】

○研修に向けて

- ・めざす子どもの姿から実際の具体的な授業の流れまでを、自分が授業をすることになってもできるぐらいのイメージを持ちたいです。授業の中で子どもの活動をどう取り入れるのか、タブレット端末の使い方や板書の示し方等についても知りたいです。また、発表が苦手な児童をどうやって巻き込んでいくかを学びたいです。
- ・実際にされた授業の指導案を協議していくので、これまで研修で学習したことがどのように反映されているのか見ていきたいです。研修で、めざす子どもの姿を想定してから授業づくりをすることが大切だと学びました。自分が授業をつくる時も意識していますが、なかなか思い通り授業を進めることができません。自分の授業と見せてもらう授業がどう違うのか自分の授業と比較しながら見ていきたいです。

○研修の振り返り

- ・どの単元を考えるにも、子どものめざす姿とつまずきを考えることから始まることが大切と改めて感じました。だからこそ、毎年、担当する児童が変われば授業する内容も変わると思いました。また、その視点が定まれば意図をもって1つ1つの活動ができるので、発問やアドバイスも定まると思いました。今回は、「複数のパターンの解き方の使い分けができる」ということをめざしていたので、まず複数のパターンを理解しその後で適切な使い方を理解するという段階を踏み、1つだけしか考えられない児童がいれば〇つ方法を考えようと具体的な数字を出すなどの手立てができるなと思いました。
- ・複雑な図形に関しては、次々と考え方がでてくる児童と全くでてこない児童もいると思うので、できている児童に対しては相手に伝わるようにするために発表準備をしたり、思いつかない児童に対しては何かヒントを与えるようにしたりできると思いました。個人で考える時間も必要なので、ミニ先生にするならば練習問題の時にする方がいいと思いました。また、ICTを使用することで、自分のタブレット端末に図形を移動させたりするアプリが入っていれば使用したいと思いました。アプリが入っていないければ、紙媒体で行い、全体共有の時に書いた紙を写真に撮って全体共有したいです。他の友だちの考えも見るできるので認め合う良い機会だと思いました。

中学校

〔国語科〕

○研修に向けて

- ・授業を構成するにあたり、まずはゴール地点を明確にすることが大切だと思いました。その時間で何を学ばせるのか、何ができるようになるれば目標を達成できたといえるのか、前から追っていくとどうしても、途中で授業の方向性が当初の目標からずれることがあります。ゴール地点からの逆向き設計を意識した上で、教材研究、指導案の検討を行うようにしたいです。また、「深い学び」についても考えなくてはならないですが、深まりを出すためにはどのような手立てがあるのかについても考えたいです。

○研修の振り返り

- ・今回の講義で、身に付けさせたい力を中心に据え、授業を通して一貫性を持たせることで、めざす子どもの姿が達成しやすくなると思いました。私自身、ここ最近を振り返ると、説明文なら説明文の進め方、物語なら物語の進め方と、ある種の型にはめた授業になっていました。今回の指導案を読んで、よく考えられていると感じた一方で、このような授業を受けた生徒と私が展開している授業を受けた生徒との間に差が生じてしまうのではという危機感を持ちました。生徒が興味を持って学習に取り組むためには、もちろんわかる授業をする必要はありますが、それに加えて、いろいろな授業の展開をすることで生徒も飽きずに授業を受けられるのではと思いました。様々な指導案や授業を行ってくださる先生の授業から吸収する姿勢を忘れずにたいです。
- ・今回は授業実践研修に向けての指導案の検討と、指導案の工夫や授業者のねらいの気付きについて交流しました。特に指導案を立てるのではなく、できあがった指導案について疑問点や指導者の意図を各自で考え交流するのが新鮮で勉強になりました。先生によって同じ指導案をみても工夫点だと考える場所が異なり、自分が気付かなかった工夫点を知ることができました。例えば書き方が提示されていることで書きやすいという点は気付いていましたが、他の先生は聞き手も決まっていることで聞きやすい、他の班と比較しやすいなどです。今回題材になった指導案を見て、子どもの具体的な反応例や手立ての工夫が具体的に記されていれば、授業を見なくともある程度の授業の様子が想像できることに気付きました。当たり前のことですが、学習過程やねらいがきっちりとわかる指導案を作成できるようになりたいです。

〔社会科〕

○研修に向けて

- ・社会科授業における思考力を育成する授業方法について知りたいです。ICTを効果的に用いた思考ツールや探究活動・意思決定型の授業構成について知りたいです。

○研修の振り返り

- ・環境問題に対しての、討論などを踏まえた議論型の授業構成があることを知りました。しかし、どのようにその課題に向き合わせていくのかということがとても難しいのではないかと思います。また、根拠となる意見も偏りが出やすいものであるため、情報のバランスという点でも難しいように思えました。それでも、生徒が社会で活躍していくためには、討論を通して他者の意見を聴くということは大事になってくると思うので、今後の実践でも取り入れていきたいと思えます。

- ・「生徒に授業でどのような力を付けさせたいか」と質問をされた際に、私自身すぐにその問いに対しての返答が思い付かないことがあり、その点は、今後意識していかなければならない課題であると感じています。そして、授業を行う際、自分がその授業の単元自体をどのように捉え、指導で何を大切にしているのかを明確にしていくことを心がけたいです。ただし、授業を進めるにあたり、こちらの思いを突き通すだけでなく、生徒がどのように考えているかを読み取りながら進めるようにしたいです。

【数学科】

○研修に向けて

- ・現在3年生の授業を担当しているので、三平方の定理の単元について教材研究を行うことができるのはありがたいです。多くの先生方との交流を通して1つでも明日からの実践に生かせるよう、積極的に取り組みたいと思います。

○研修の振り返り

- ・今回、「三平方の定理」の授業案について話し合いましたが、その中で自分が思い付かなかったことを他の先生たちから学び、それをこれからに生かしたいです。また証明をする上で、なかなかどれを証明したいのかが分からない生徒がいるという意見もあったので、まずは何を証明したいのかを明確にさせ、取り組んでいきたいと思いました。これから証明の授業も行うので丁寧に指導していきたいと感じました。
- ・他の人の意見と全く違う部分や、同じ活動も取り入れている先生もいました。その中でもどこまで先生が教え、どこから生徒に考えさせるかという線引きが先生によって異なると思いました。三平方の定理の証明の授業を考え、図から証明を考えさせる先生もいれば、最初は図を提示せずに考えさせてから、ヒントとして図を出す先生もいました。どちらがいいかは目の前の生徒に合わせるべきだと感じました。また、生徒の視点に立ってつまずきから授業を考えている先生もあり、その視点を参考にしたいと思いました。

【理科】

○研修に向けて

- ・生徒指導や授業規律など、いろいろな指導をしていく中で、教員として働く以上、授業で勝負していきたいと思えますし、授業をしっかり行えば規律は整っていくと先輩の先生に学んだことがあります。指導案の書き方など基本的なところからしっかりとできるようにしていくためにも、この研修を通してしっかり学んでいきたいと思えます。

○研修の振り返り

- ・実験を行う授業では、既習事項や対照実験について確認し、理由を明確にして予想を立てる時間がより一層大切なのではないかと感じました。また、本時で扱った授業内容のように、最終的に人の体とどう結び付いているのか、日常生活のどのような場面が関係あるのかを、実験の結果や考察から、生徒自身に気付かせたいと思いました。次の研修では、実際に授業の動画を見た上で、自分達が考えた指導案と比較しながら、さらに意見交流をしていきたいです。

【音楽科】

○研修に向けて

- ・教育実習の際にモルダウの鑑賞の授業を行いました。当時は中学生への授業自体が初めてだったので、教員として採用された今の視点と、周りの先生方のアイデアを取り入れながらこの教材の展開方法を考えたいと思います。

○研修の振り返り

- ・実際の指導案に基づいてそれぞれが指導計画を考えて、発表し合いながら様々な指導方法を聞いたことで、自分にはない手立てや工夫があるなと感じました。また、鑑賞の授業において感じたことを言葉で表現した後、必ず「音に返す」という重要性を学ぶことができました。合唱コンクールが終わったら自分も鑑賞の授業に入るので、今日学んだことを生かして授業をつくっていきたいと思います。

【美術科】

○研修に向けて

- ・先輩教員の授業動画から自分とは違った視点からの授業の導入や展開を学びたいです。同じ教材によっても人によってさまざまなアプローチがあることは、以前からの研修で学ぶことができました。自分なりの手立てを研修の中でしっかりと考え、他の先生と比較することによって新たな力にしていきたいと思います。

○研修の振り返り

- ・アニメーションを扱った授業は、まだ行ったことはないのですが、今回交流する中で PowerPoint 以外のソフトの活用方法を知る機会となりました。授業展開の案も先生方によって考え方が異なり、自分がもし授業を行うのであれば、取り入れたいと思うものもありました。
- ・造形の要素などについて意見交流し、言葉で書き出したりすることで、表現の幅が広がるのが実感できたので、今後の授業でも取り入れていきたいと思います。また、教員が主題について制限をかけるか、かけないかで制作の方法などが変わってくるので、主題についてもしっかりと考えていきたいと思います。指導案の書き方について学ぶことができたので、今後に生かしたいです。

【保健体育科】

○研修に向けて

- ・授業実践研修に向けて、全員でつくり上げていきたいと思います。自分ならこうするという思いもありますが、周りの先生方の意見を聞いてうまくまとめていくことが必要なのではないかと思います。自分のこれまでの経験を生かし、できることは必ずあると思います。自分ができること、準備をしっかりと行っていくことで授業の成功に繋がるはずで、最近の研修では、自分なりに解釈して勤務校でも実践できていると思うので、今回の研修でもしっかりと自分の引き出しを増やしていきたいです。

○研修の振り返り

- ・マット運動の指導のアイデアを交流させてもらうことができ、大変参考になりました。自分が想定するつますきだけでなく、たくさんのパターンについて考えられる研修になりました。今回交流させていただいたアイデアをもとに、自分なりに生徒のための授業を意識して授業を作成したいと思いました。また、指導案の作成に関しても、指導の観点の部分の説明が大変わかりやすく参考になりました。「ねらい」を意識した指導、指導案を心がけて今後も授業づくりを頑張ろうと思いました。

【技術・家庭科(技術分野)】

○研修に向けて

- ・金属加工の分野は、金属を溶かす必要があるのですが、学校で実習することは不可能だと思っていました。しかし、前回の研修を通して、ガスと鍋を使うことで鑄造技術を体験することができることがわかりました。実際の実習内容に関しては現在模索中ですが、今回の研修で鑄造技術について多くのことを学習し、今後の授業に生かせるように取り組みたいです。

○研修の振り返り

- ・今回の研修を通して、鑄造の技術の実習方法の一例を学ぶことができました。鑄造の技術は、高温になり非常に危険ですが、「好きなデザインのキーホルダーを作ることができる」ということに魅力を感じました。まだまだわからないことがあります。授業を行う際には生徒が安心して、鑄造の面白さや偉大さを感じ取ることができるように、しっかりと教材研究をしていきたいです。

【技術・家庭科(家庭分野)】

○研修に向けて

- ・住生活の授業は3学期に扱います。前回までに生活の中から課題を発見し、学びに繋げる授業を考えてきましたが、実践するとなると難しいなと思っています。教材研究を深くできる時間もあまりないので、研修を通して具体的に考えたいです。

○研修の振り返り

- ・題材が同じ中、様々な展開が交流の中で見られて面白かったです。災害に関する写真や動画を見せることに関しては、それぞれの意見に出てきていました。過去に大震災を経験した兵庫県ですが、今の中学生は話で聞いたものという印象の方が強く、自分事として捉えていない生徒の方が多いのではないかと思います。私自身もそうなので、教える立場として一緒に考えていきたいと思いました。昨年度実践された先生の授業の中でも、自分の家の間取り図や鳥瞰図など、教材に様々な工夫が見られて参考にしたいと思いました。

【外国語科】

○研修に向けて

- ・先日の研修ではまとまりのある文からインタビューにつなげる流れを学びました。現在学校でも実践はしていますが、やはり課題は多いです。英語を話すことを躊躇してしまう、まとまりのある文を読むが記入ができないなど個々にあった支援が必要だと思います。今回の研修を通して、より良い英語の授業とはどのようなものか、どのようにすれば生徒が英語に前向きに取り組めるかなどを学びたいです。

○研修の振り返り

- ・指導案から授業を考えていく中で、何に気を付けて授業づくりを行っていくべきかを考える機会になりました。特に今回の授業案では、8時間の授業の中で、最後のライティングとスピーキングをゴールとして、その活動ができるように簡単なアクティビティから生徒を成長させていく姿が見えたことが、お手本になる指導案だと感じました。この研修で学んだ目標を意識して、授業をつくるようにしたいと思います。
- ・班で意見交流する中で、自分では気付かないようなアイデアに気付くことができました。導入に関しては、違いに気付かせるための工夫をたくさん知ることができました。展開に関しては、カードを配布して同じカードの生徒に質問しに行き、その答えをまとめて文を作る、そして班の中で誰の答えかを推測するゲームはとても良いアクティビティだと思いました。自分も参考にしていって、さらに良いアクティビティができるよう工夫したいです。